

# 上高地地域のツキノワグマ対策 実践マニュアル

このマニュアルは、上高地地域のツキノワグマの対策を推進するため、地域関係者等を対象として作成しました。

このマニュアルには、上高地地域におけるツキノワグマの現状に加えて、今後、ツキノワグマが出没した際に、「誰が」「どのような対策を実施するか」を掲載しています。

このマニュアルを元に、関係者が協働してツキノワグマによる被害や事故を未然に防止しましょう。

## 目次

<b>上高地地域のツキノワグマの生息・出沒状況</b>	<b>… 1</b>
・生息状況	…… 1
・出沒エリア	…… 2
・出沒状況の変遷	…… 3
<b>上高地地域におけるツキノワグマへの対策</b>	<b>… 4</b>
・生息管理目標	…… 4
・被害防止のための取組	…… 4
・出沒時の危機管理体制	…… 5
・事故発生時の対応	……15
・出沒に備えて日常的に取り組むこと	……16
<b>参考資料</b>	<b>…17</b>
・ツキノワグマ出沒情報の周知看板設置位置図	……17
・施設管理チェックリスト	……18
・普及啓発資料	……19
・クマ目撃情報記入用紙	……21

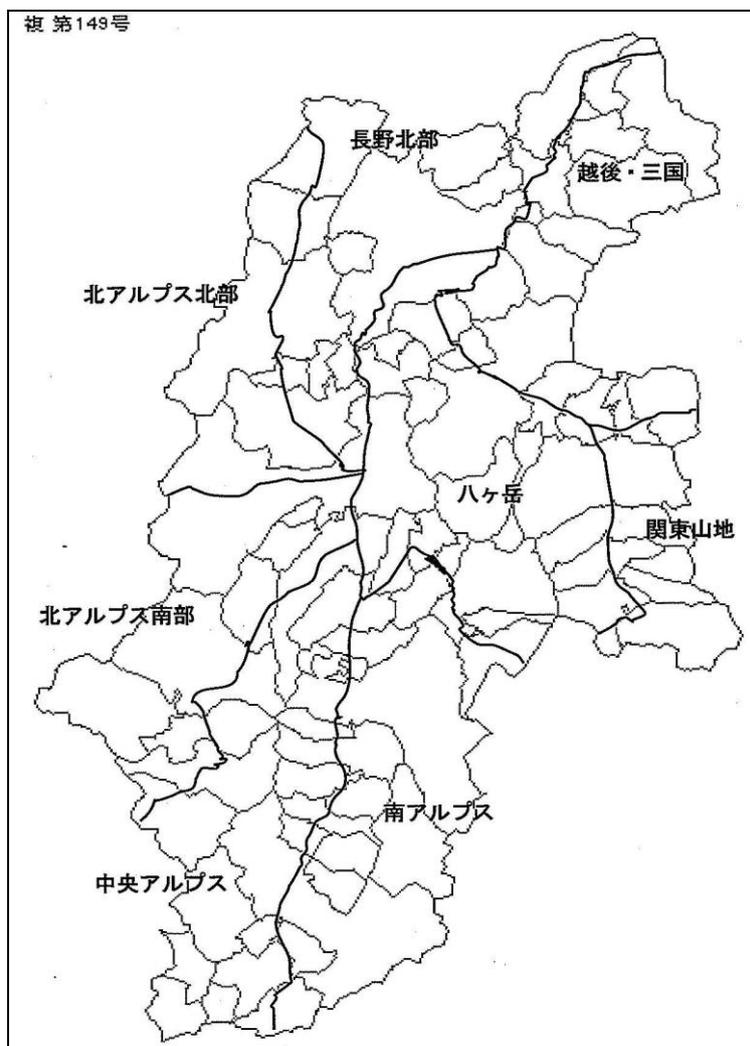
## 上高地地域のツキノワグマの生息・出没状況

### 生息状況

### 豊かな自然を保持する上高地地域は、全域がツキノワグマの生息地

豊かな自然が広がる上高地地域は、全域がツキノワグマの生息地です。

上高地地域に生息するツキノワグマは、北アルプス北部地域個体群というグループに属しています。北アルプス北部地域個体群の推定生息数は600頭（中央値）（長野県第二種特定鳥獣管理計画（第4期ツキノワグマ保護管理）平成29年・長野県）とされており、現在、そのうちの一部の個体が上高地地域に出没していると考えられています。

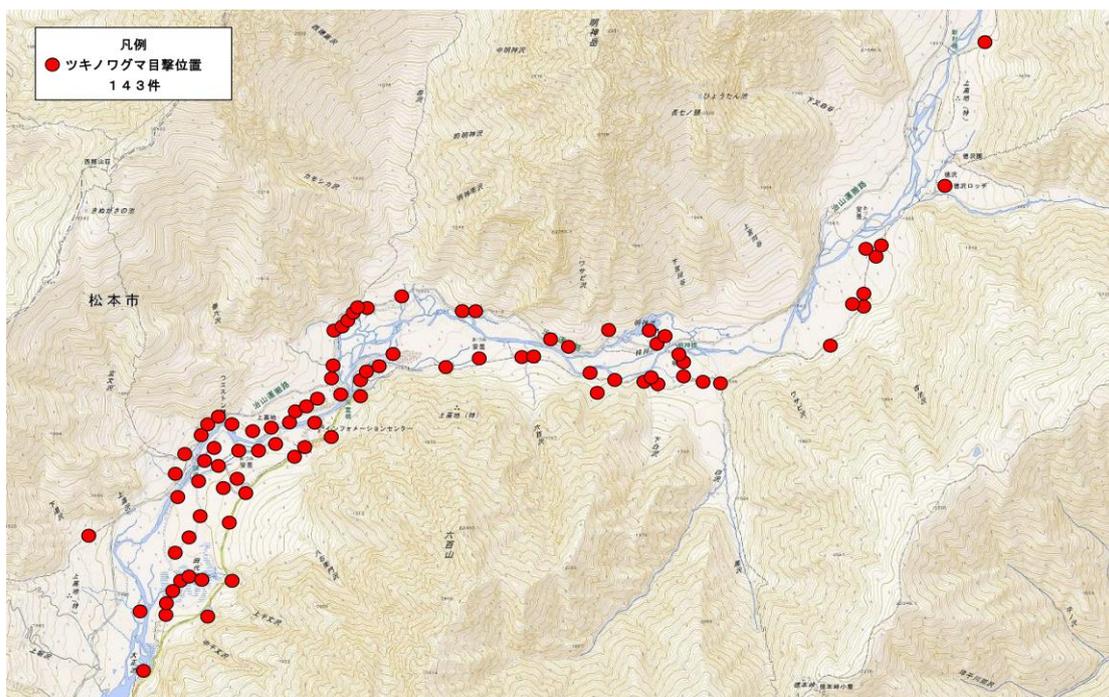


ツキノワグマの個体群グループ  
（長野県第二種特定鳥獣管理計画  
（第4期ツキノワグマ保護管理）より）

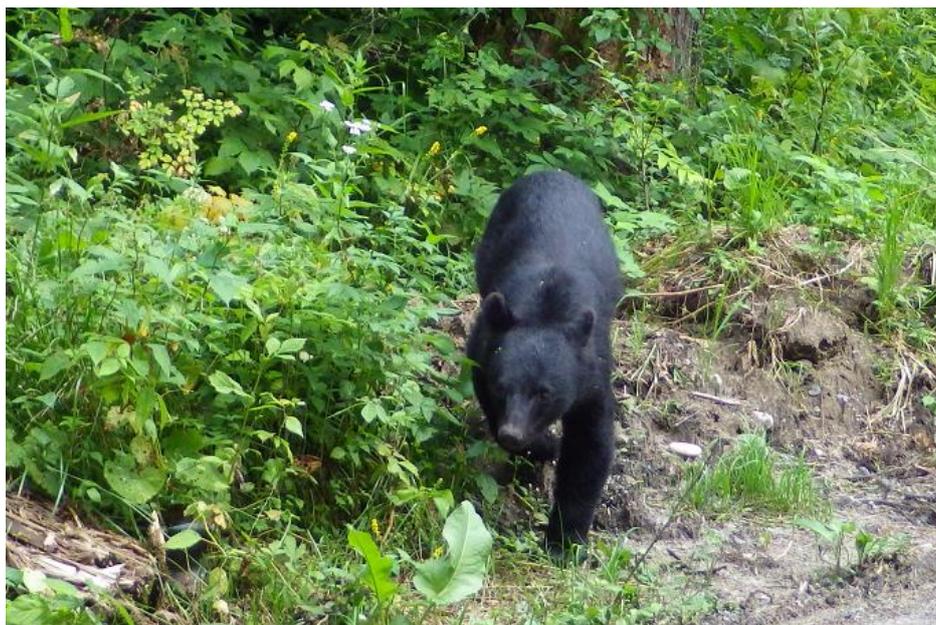
## 出没エリア

上高地内で多くの目撃情報あり  
食べ物を求めて出没するほか、行動範囲に含まれる

これまで、公園利用者が多い大正池から明神橋までの範囲においても、毎年多くの目撃情報が上高地インフォメーションセンターによせられています。なお、上高地全域がツキノワグマの生息地であるため、どのエリアにおいてもツキノワグマが出没する可能性があります。



令和2年度の目撃エリア  
(位置が近い目撃情報はひとつの●で示す)



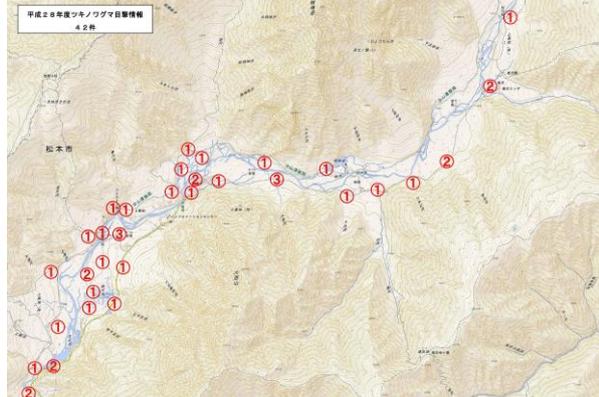
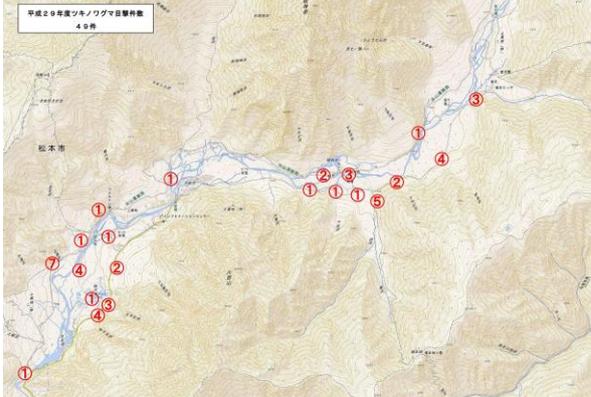
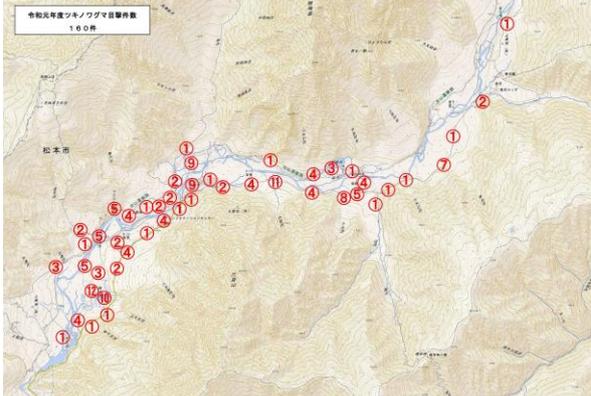
明神付近の歩道沿いで目撃されたツキノワグマ（令和2年8月10日）

## 出没状況の変遷

**平成 30 年までは、毎年約数十件の出没が発生  
近年は 100 件を超える傾向も**

ツキノワグマの出没エリア・出没頻度は、毎年少しずつ変化しています。過去 5 年間で最も目撃情報が多かったのは令和元年度の 158 件でした。

公園事業施設のゴミ置き場等への出没は、皆様のご協力のもと大幅に改善されました。一方、食糧やゴミなどクマを誘引するものの保管庫への入れ忘れやグリストラップの対策が不十分であること等によるツキノワグマの餌付きが発生していますので、管理の徹底をお願いいたします。

【平成 28 年度】	【平成 29 年度】
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目撃件数：42 件</li> <li>● 目撃エリア：六百沢、中ノ瀬周辺での目撃情報がやや多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目撃件数：49 件</li> <li>● 目撃エリア：焼岳登山口、田代湿原、明神周辺での目撃情報が多い</li> </ul>
【平成 30 年度】	【令和元年度】
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目撃件数：計 38 件</li> <li>● 目撃エリア：自然研究路梓川コース、徳本峠登山口周辺での目撃情報が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目撃件数：計 158 件</li> <li>● 目撃エリア：田代湿原、小梨平、岳沢湿原、明神周辺での目撃情報が多い</li> </ul>

※「目撃件数」は、大正池～徳沢地区において上高地インフォメーションセンターに報告された目撃情報による。

## 上高地におけるツキノワグマの対策

### 生息管理目標

### ツキノワグマの人的被害を未然に防ぐ

上高地地域は、ツキノワグマの生息地であり、出没が毎年発生している状況です。そのため、ツキノワグマの生息環境を保全しながら、利用環境も保全することが重要です。

#### 【上高地地域におけるツキノワグマの生息管理目標】

- ツキノワグマによる人的被害を未然に防ぐ。
- ツキノワグマによる人的被害を軽減する危機管理体制を構築し、運用する。

### 人的被害防止のための取組

### ゴミ等の管理などの環境整備の徹底 公園利用者に向けた普及啓発

ツキノワグマによる人的被害を防止するため、各関係者が協力してゴミの管理や公園利用者に向けた普及啓発を実施します。

#### 【環境省・自然公園財団・公園事業者など地域関係者】

- 食品・ゴミ（臭いもれ含む）・グリストラップ・空きカン等、ツキノワグマを誘引する可能性のあるもの・場所の管理をチェックリストに従って徹底し、餌付き個体の発生件数を0にしましょう。
- 公園利用者に向けた普及啓発や注意喚起を行いましょ。また、出没に関する情報収集を実施しましょ。
- 歩道、施設周辺のササの刈り払い等を実施し、見通しをよくすることで、出会い頭の事故を防ぎましょ。



ボルト締めしたグリストラップ



ツキノワグマの出没に関する啓発看板

ツキノワグマの出没に関する情報は、全てインフォメーションセンターで管理します。情報を得た場合は、速やかにインフォメーションセンターにご連絡ください。

上高地地域（登山エリアを除く）においてツキノワグマが出没した際には、次に示す一定の基準（レベル）に沿って環境省及び自然公園財団上高地支部が対応を決定し、関係者に通知します。その後、レベルにそって、各主体が行動します。

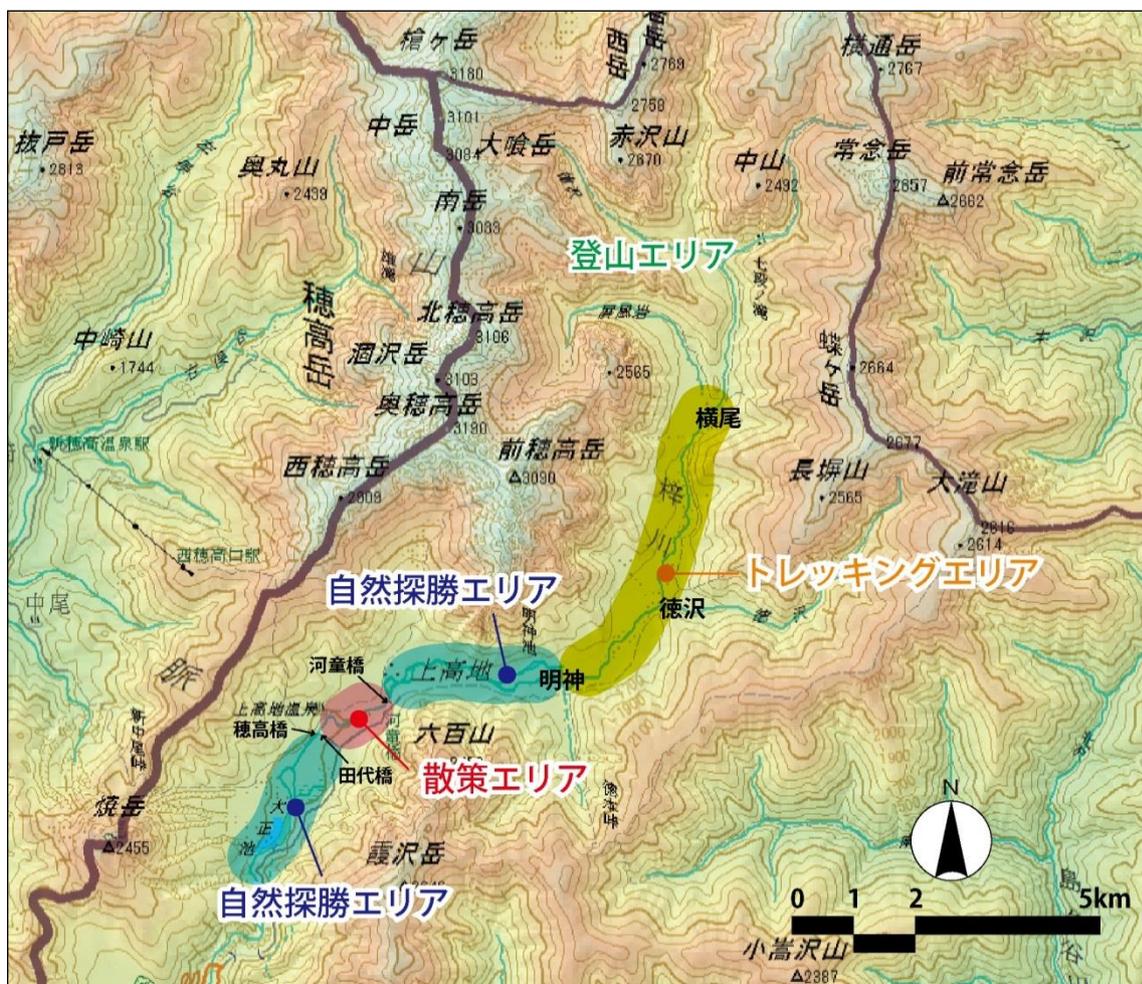
出沒レベル別の対応内容

出沒レベル	レベル判定基準	対応内容
レベル 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然探勝エリア、トレッキングエリアにおける通常出沒</li> </ul> 例：明神周辺での出沒 徳沢周辺での出沒	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域関係者等に情報を発信する。</li> <li>公園利用者に注意を喚起する。</li> </ul>
レベル 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>散策エリアにおける通常出沒</li> <li>自然探勝エリア、トレッキングエリアにおける連続出沒</li> <li>トレッキングエリアにおける親子の通常出沒</li> </ul> 例：河童橋周辺での出沒 明神周辺での連続出沒 ※連続出沒： ツキノワグマの出沒が 2日続いた場合 徳沢周辺での親子の出沒	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域関係者等に情報を発信する。</li> <li>監視員が必要に応じて巡視する。</li> <li>公園利用者に注意を喚起する。</li> </ul>
レベル 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>散策エリアにおける連続出沒</li> <li>自然探勝エリアにおける親子の通常出沒</li> </ul> 例：河童橋周辺での連続出沒 明神周辺での連続出沒	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域関係者等に情報を発信する。</li> <li>監視員が巡視する。</li> <li>公園利用者に注意を喚起する。</li> </ul>
レベル 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>散策エリアにおける親子の通常出沒</li> <li>宿泊施設又は野営施設敷地内への通常出沒</li> </ul> 例：河童橋周辺での親子の出沒 施設敷地内のゴミ捨て場への出沒	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域関係者等に情報を発信する。</li> <li>監視員が巡視する。</li> <li>公園利用者に注意を喚起する。</li> <li>専門家及び各関係者との協議のもと、対応を決定する（例：捕獲など）。</li> </ul>
レベル 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>餌付き個体の発生</li> </ul> 例：ゴミ捨て場での餌付き ※餌付き個体とは、シーズン中に人為的食糧を一度でも摂取した個体を指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>監視員が巡視する。</li> <li>公園利用者に注意を喚起する。</li> <li>地域関係者等に情報を発信する。</li> <li>専門家及び各関係者との協議のもと、対応を決定する（例：捕獲など）。</li> <li>出沒地区周辺の野営場は閉鎖する。 （例：河童橋周辺：小梨平野営場、徳沢周辺：徳沢野営場、横尾周辺：横尾野営場）</li> <li>（必要に応じて）出沒施設周辺を一時立ち入り禁止とする。特に、餌付き個体発生箇所の周辺は事故リスクが高いことを認識し、厳重な安全措置と徹底した情報周知を図る。</li> </ul>

■上高地の利用ゾーニング（上高地ビジョン 2014 より抜粋）

利用形態	対象エリア	歩道のタイプ	利用者層
登山エリア	山岳地帯	登山道	登山者（登山靴）
トレッキングエリア	明神～徳沢～横尾		ハイカー、登山者（トレッキングシューズ・登山靴）
自然探勝エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大正池～田代橋</li> <li>・小梨平～明神（梓川左岸）</li> <li>・河童橋～明神池（梓川右岸）</li> </ul>	探勝歩道	観光客、ハイカー（運動靴・トレッキングシューズ）
散策エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田代橋～ビジターセンター（梓川左岸）</li> <li>・穂高橋～河童橋（梓川右岸）</li> </ul>	園路	観光客（タウンシューズ・運動靴）

登山：山に登りながら、原始的な自然をありのまま体験すること。  
 トレッキング：山麓を歩きながら、雄大な自然を体験すること。  
 自然探勝：豊かな自然を探勝、観察しながら、自然とふれあうこと。  
 散策：雄大な風景を鑑賞しながら、豊かな自然に接すること。

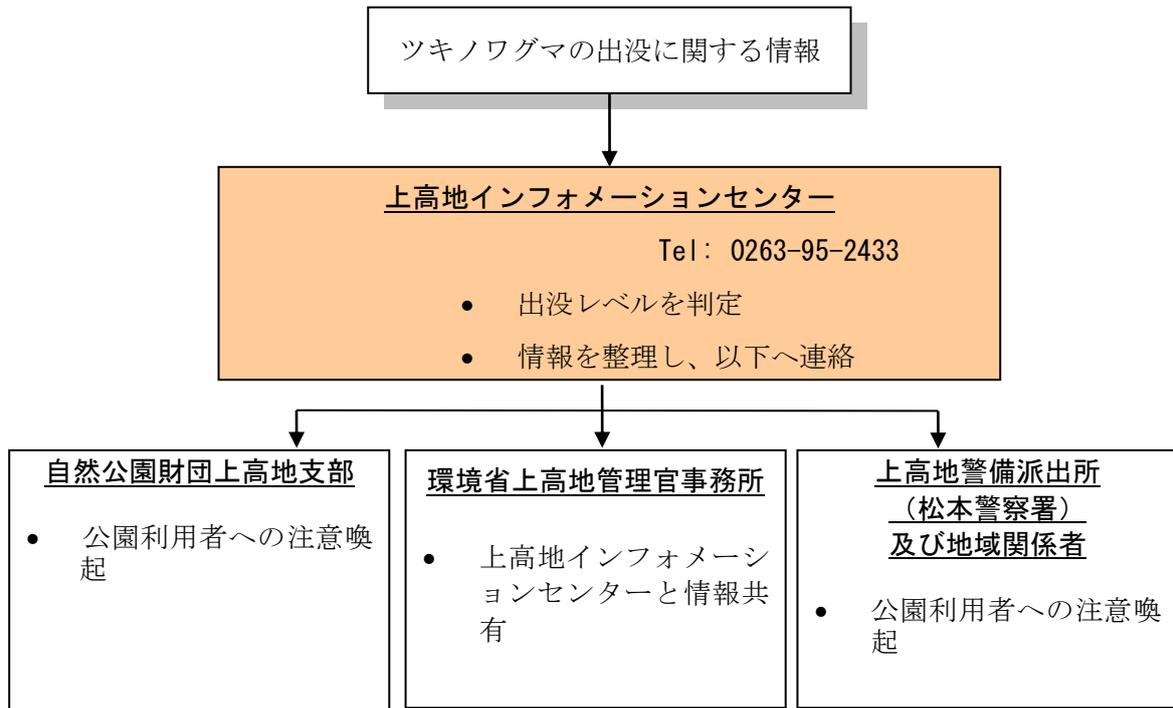


図：上高地の利用ゾーニング（上高地ビジョン 2014 から抜粋）

## 【出没レベル1】

「自然探勝エリア、トレッキングエリアでツキノワグマが出没した場合」の連絡体制及び取り組み内容を以下に示します。

出没レベルの判定及び連絡は上高地インフォメーションセンターがおこないます。各関係者はその指示に従ってください。



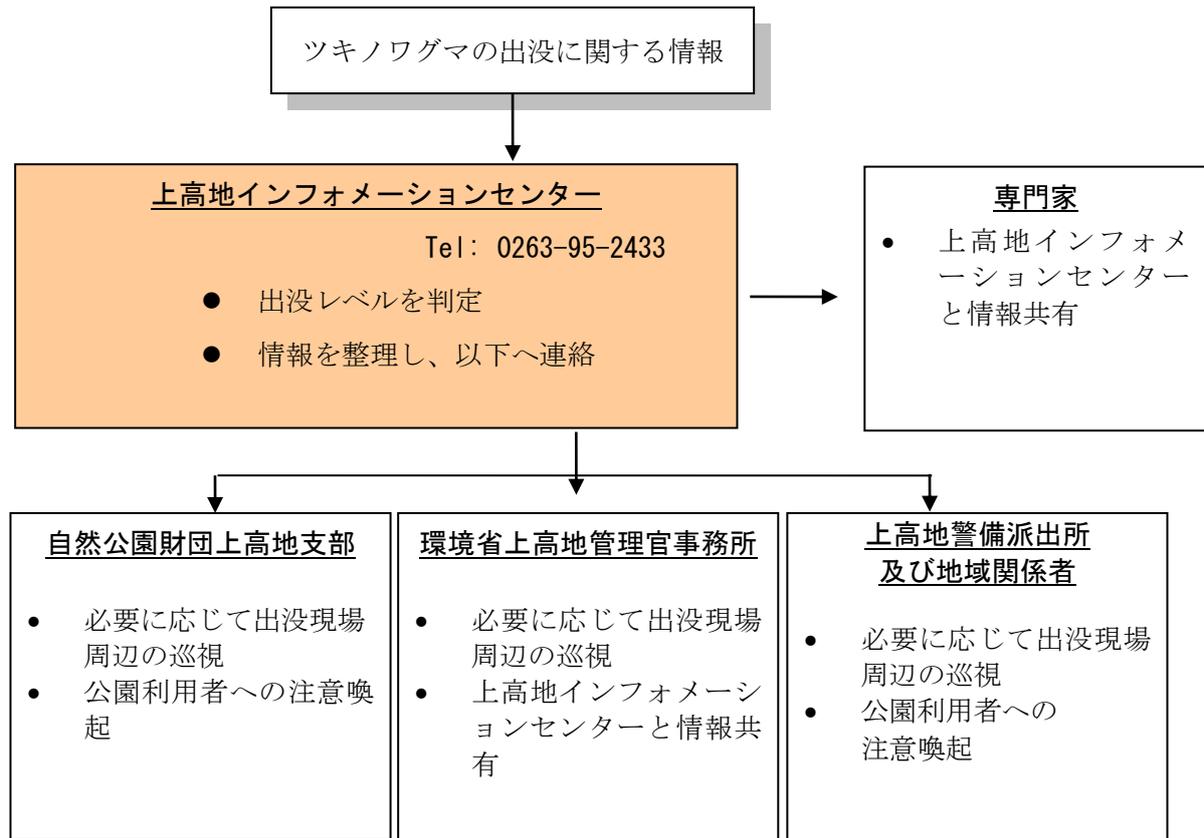
### 【注意喚起の方法】

- 地域関係者は、施設や施設の周辺に出没情報を掲出し、周辺におけるクマの出没情報を公園利用者が得られるようにしましょう。

## 【出没レベル2】

「散策エリア（河童橋周辺など）でツキノワグマが出没した場合」、「自然探勝エリア、トレッキングエリアで連続出没した場合」または「トレッキングエリアで親子が出没した場合」の連絡体制及び取り組み内容を以下に示します。

出没レベルの判定及び連絡は上高地インフォメーションセンターがおこないます。各関係者はその指示に従ってください。



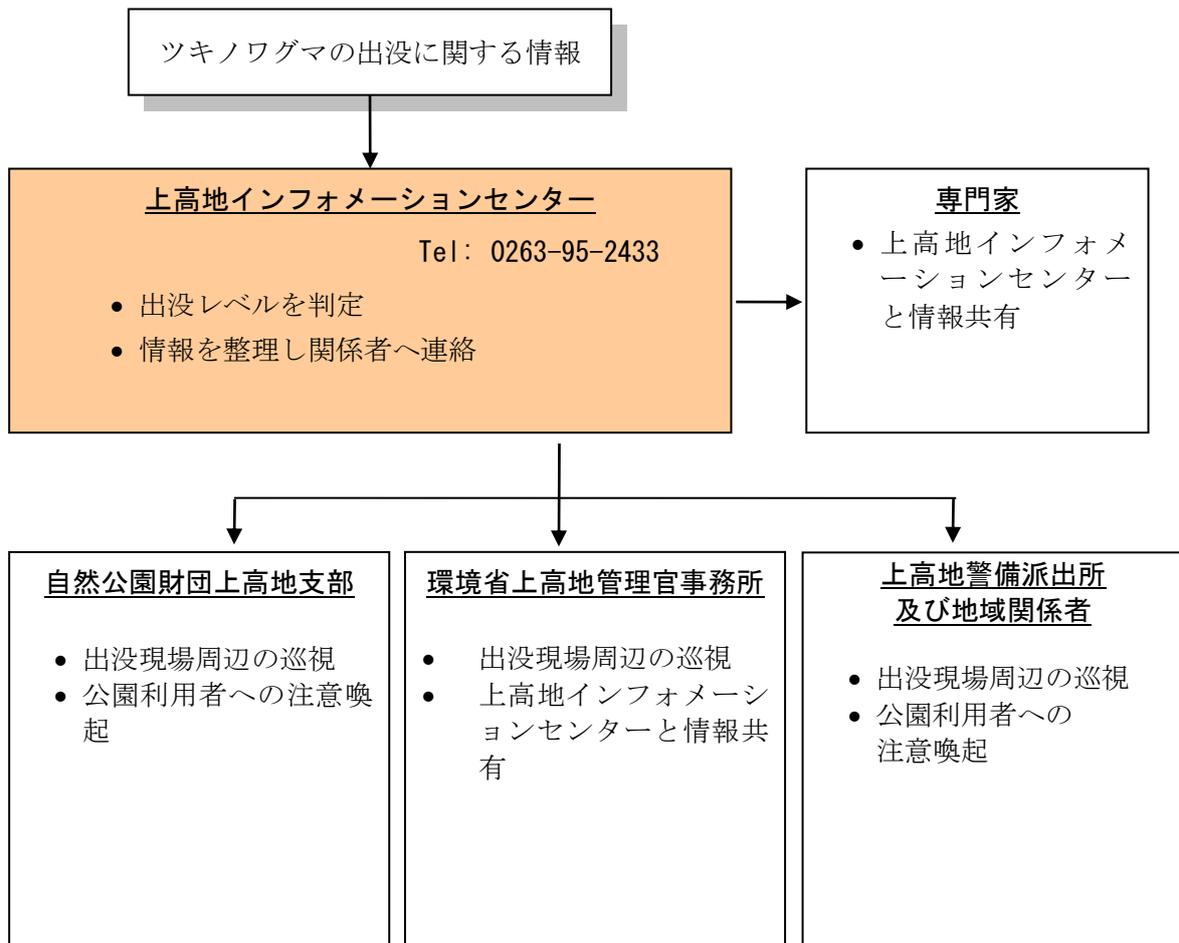
### 【巡視とその必要性、注意点】

- 出没レベル2では、個体が利用施設の付近に長く留まって利用者の誘導が必要な場合や出没頻度が数日間同一地点で高い場合など、状況に応じて巡視を行うようにします。
- 出没現場の巡視は、なるべく複数名体制で実施しましょう。
- 全員がクマスプレー・クマ鈴・無線機等の連絡手段を携帯しましょう。
- 1名が安全な場所から全体の管理を、他1名が状況把握のため、出没場所に近づいて調査をおこなってください。その場合には、周囲の臭いや音、草むらの揺れ等に注意しましょう。
- 必要に応じて園路等の通行規制や利用者の誘導を実施する場合は、さらに増員が必要です。

### 【出没レベル3】

「散策エリア（河童橋周辺など）でツキノワグマが連続的に出没した場合」または「自然探勝エリアで親子が出没した場合」の連絡体制及び取り組み内容を以下に示します。

出没レベルの判定及び連絡は上高地インフォメーションセンターがおこないます。各関係者はその指示に従ってください。



### 【親子グマの出没】

- 親子グマは単独の個体に比べて事故リスクが高いため、非常に注意が必要です。
- 特に子グマは脅威が小さいように見える上可愛らしいため、利用者が不用意に近づきやすい一方、近くに気の立った母グマが潜んでおり、「利用者の心構え」と「クマの状態」の両面で非常に危険性が高い状態です。

### 【「連続出没」の基準】

- ツキノワグマの出没が2日続いた場合、連続出没とします。
- 個体の様子を詳しく把握するなどし、餌付き個体でないか注意深く判断しましょう。
- 人為的なものに執着している様子があれば、餌付き個体である可能性が高いといえます。「夜間の行動」「荒らされたものの有無」には特に注意しましょう。



写真：夜間徘徊するツキノワグマ  
(日本アルプス観光(株)提供)

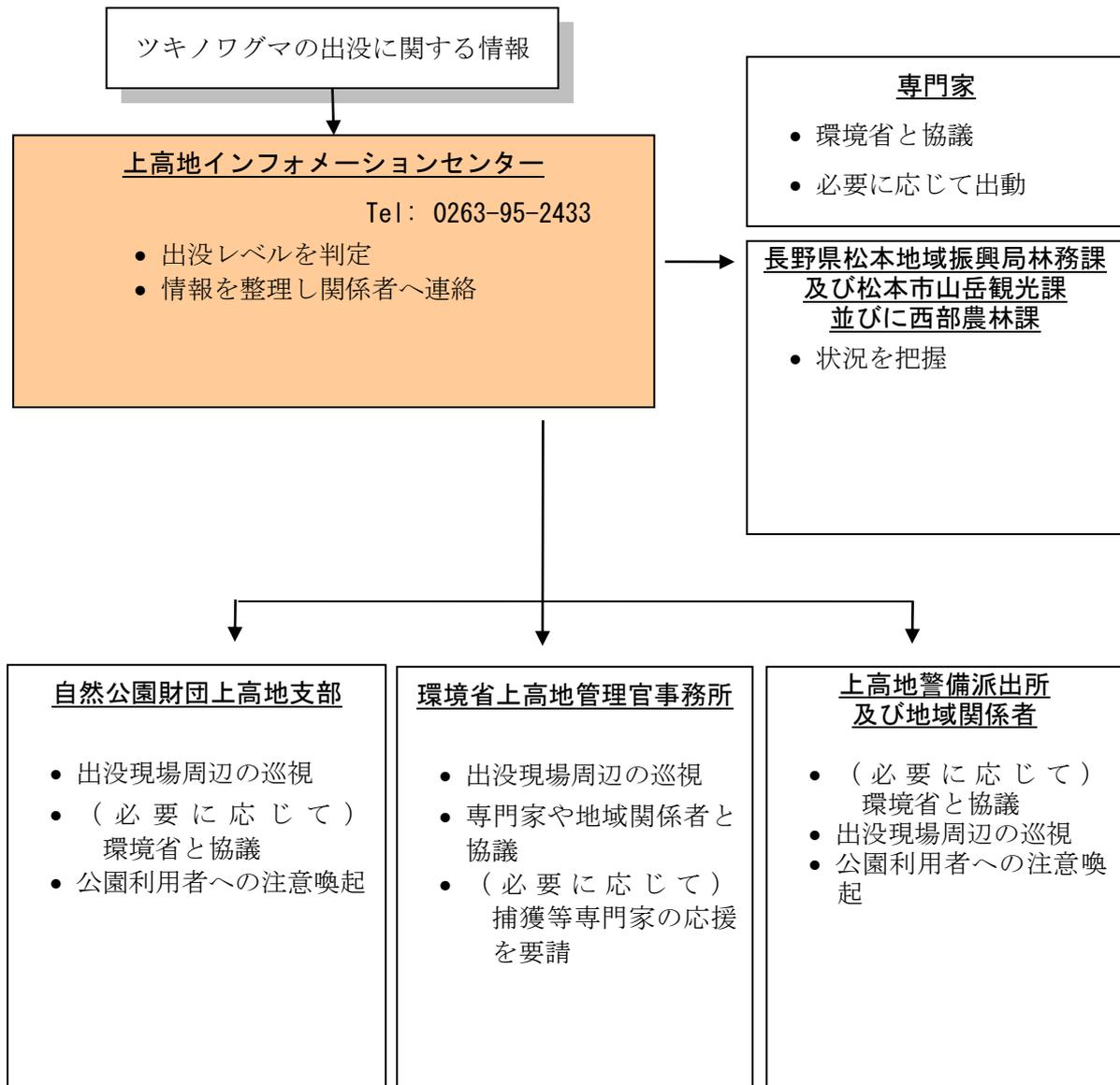
### 【人慣れ個体の出没】

- 餌付いていなくても、特に若い個体では人間を恐れない行動を見せる場合があります。
- そのような個体は、無理に追い払いをせず、付近の園路で利用者を誘導するなどの安全対策に努めましょう。(追い払うことでパニックになった個体が対岸などで人身事故を起こす可能性があります)

#### 【出沒レベル4】

「散策エリア（河童橋周辺など）で親子グマが出没した場合」または「個体が宿泊施設又は野営場施設敷地内へ出没した場合」の連絡体制及び取り組み内容を以下に示します。

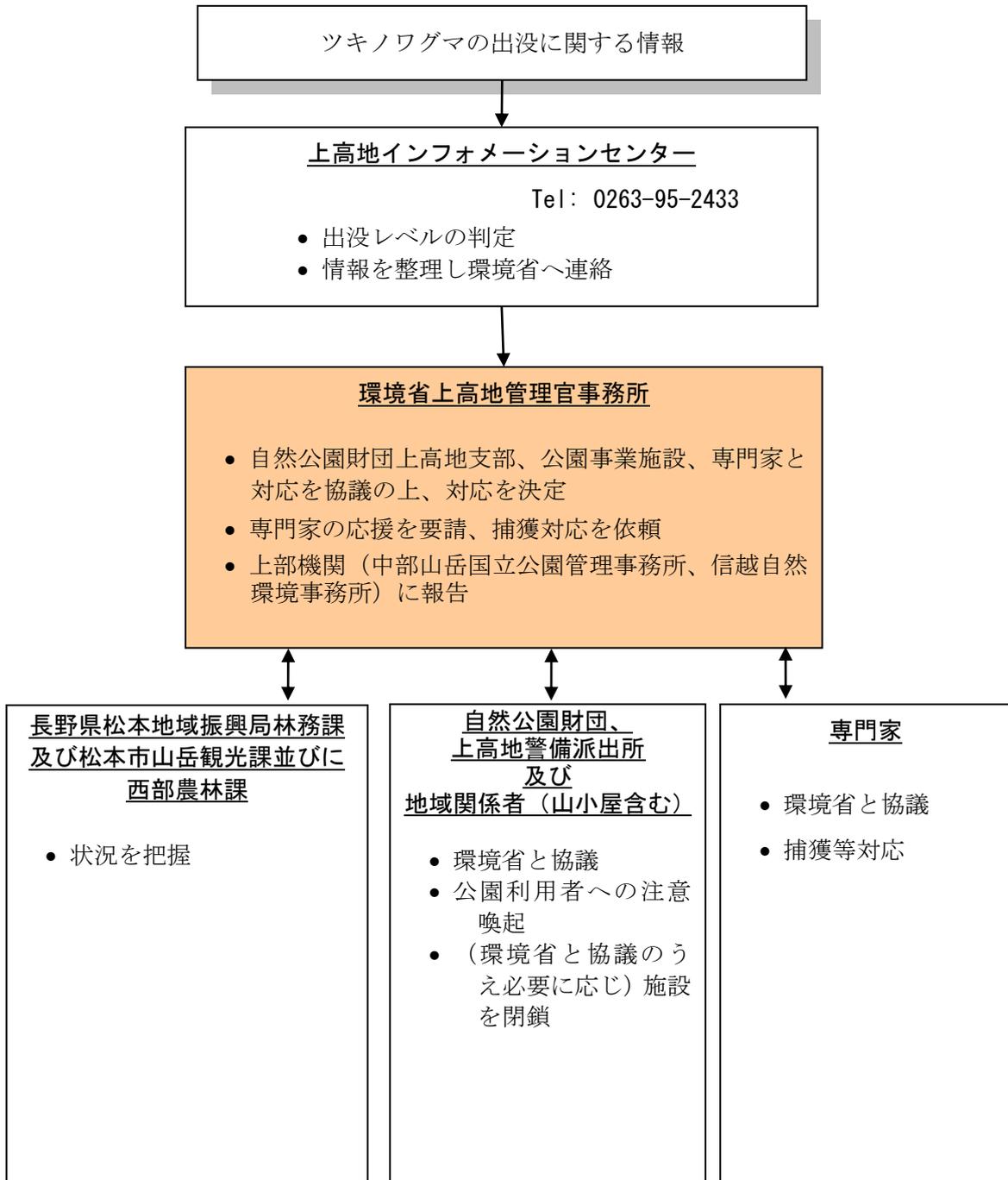
出沒レベルの判定は現場の状況や関係者からの聞き取りをもって、上高地インフォメーションセンターが決定します。各関係者は情報収集や確認に協力してください。



## 【出沒レベル5】

「餌付き個体の発生が確認された場合」の連絡体制及び取り組み内容を以下に示します。

出沒レベルの判定は上高地インフォメーションセンターが、出沒に対する対応は各関係者の協議をもって、環境省が決定します。各関係者はその指示に従ってください。



夜間であっても情報共有を行うこと

## 餌付き個体の発生が確認された場合

- 餌付き個体の発生が確認された場合、原則、発生地区周辺の野営場施設は閉鎖。発生源対策が実施され、捕獲後、1週間ツキノワグマの目撃情報がなければ再開可能とする。  
例：河童橋周辺の施設で餌付きが発生した場合、小梨平野営場は閉鎖  
徳沢周辺の施設で餌付きが発生した場合、徳沢野営場は閉鎖  
横尾周辺の施設で餌付きが発生した場合、横尾野営場は閉鎖
- 周辺地区における夜間外出は禁止。再開のメドは上記と同様とする。
- 周辺地区に限らずすべての利用者に対し、餌付き個体の発生場所・日時、発生地区の対応について周知する。
- 専門家に捕獲対応を依頼する（捕獲後の放獣等の対応は状況に応じて決定）。

### 【餌付き個体の発生】

- 餌付き個体とは、シーズン中に人為的食べ物を一度でも摂取した個体を指します。
- それまで自然物に依存していた個体でも、あっという間に人為物に依存するようになります。
- 自然状態で生息していたときと比べ、夜間の徘徊、人工物への執着など、異常行動がみられるようになり、テントなどを見境無く襲う可能性もあるため、非常に危険な状態です。匂いが出ていなくても、中に食べ物を入れていなくても人工物が襲撃を受ける可能性もあります。

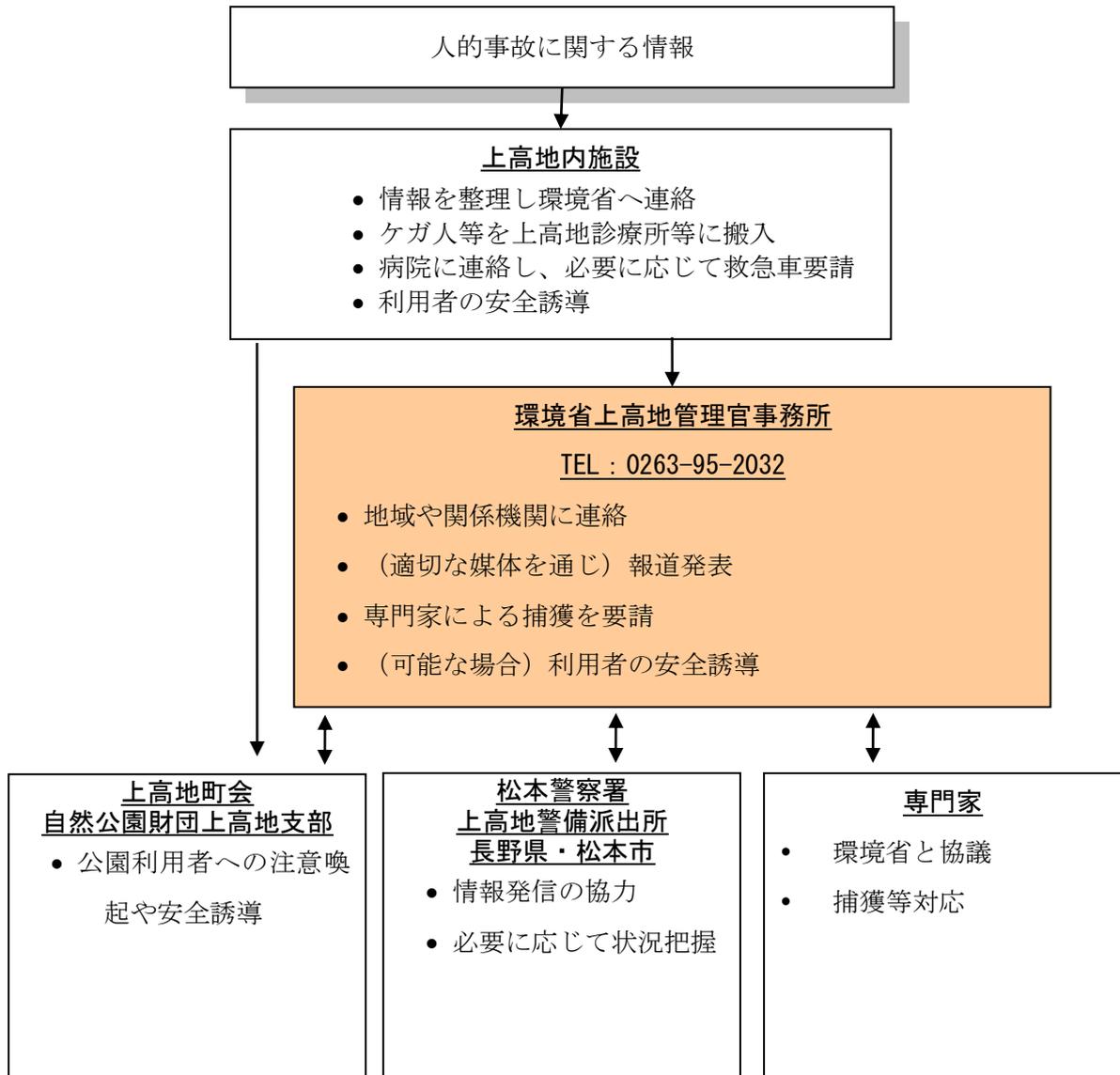


食糧を保管していないにもかかわらず、餌付き個体による襲撃を受けたシート保管庫



襲撃を受けた食料庫

## 事故発生時の対応



### 【事故発生時の利用者の安全誘導】

- 事故が発生した際、被害を受けた人や周囲の利用者の安全確保が最重要となりますが、一方で利用者やクマをパニックにさせないための心がけも重要です。
- 2009年の乗鞍畳平における事故は、パニック状態になったクマが次々と人を襲ったことによって、多くのケガ人を出してしまったとされています。

## 出没に備えて日常的に取り組むこと

### 【環境省上高地管理官事務所】

- ・地域と協働して、毎年シーズン始めに本マニュアルやツキノワグマについての講習会を実施します。
- ・地域と協働して、利用者への普及啓発に取り組みます。
- ・上高地内の施設が適切に食料やゴミ、グリストラップを管理できているか、チェックリストを用いて確認します。
- ・クマの出没状況などを踏まえ、地域と相談しながら定期的にマニュアルの見直しを行います。

### 【自然公園財団上高地支部】

- ・地域と協働して、毎年シーズン始めに地域向けのクマ対策マニュアルやツキノワグマの講習会を実施します。
- ・地域と協働して、利用者への普及啓発に取り組みます。
- ・上高地内の施設が適切に食料やゴミ、グリストラップを管理できているか、チェックリストを用いて確認します。
- ・様々なスタッフが講習会に積極的に参加し、ツキノワグマの生態や事故リスクについて理解を深めます。
- ・施設の利用者に対し、ツキノワグマに関する情報発信を行います。

### 【上高地警備派出所（松本警察署）・公園事業者など地域関係者】

- ・上高地を美しくする会など地域主体で、ツキノワグマに関する講習会を実施します。
- ・様々なスタッフが講習会に積極的に参加し、ツキノワグマの生態や事故リスクについて理解を深めます。
- ・施設の利用者に対し、ツキノワグマに関する情報発信を行います。
- ・食料やゴミ、グリストラップ、空き缶等を、チェックリストを用いて適切に管理します。
- ・野営場では、必要に応じてフードロッカーの貸し出しや、フードロッカーの整備、食料預かりを検討します。
- ・クマの出没情報を適切に把握し、インフォメーションセンターや施設内スタッフと共有します。
- ・山岳エリアの事業者においても、情報発信や情報共有の体制を整えます。

## 参考資料

### ■ ツキノワグマ出没情報の周知看板設置位置図



■施設管理チェックリスト

## 施設管理者用クマ対策チェックリスト

施設名：	記入者名：
------	-------

\*該当する項目にチェックをいれてください

### 1. 食料管理

\*本館建物内に全ての食料を保管している場合は点検不要ですが、冷凍庫などの保管庫が1つでも屋外にある場合は点検が必要です。もし保管庫がクマに壊される兆候があれば対策の検討が必要です。

点検場所	点検項目	チェック✓	改善策
屋外の保管庫	<b>別棟建物を使用している場合</b>		
	⇒ 常時施錠している（入口・窓）		
	⇒ 夜間のみ施錠している（入口・窓）		常時施錠しましょう
	⇒ 施錠はしていない（入口・窓）		常時施錠しましょう
	⇒ 建物や扉はクマに破壊されにくい構造である		
	⇒ 建物や扉はクマに破壊されやすい構造である*		改修・補強を実施しましょう
	<b>スチール製簡易倉庫を使用している場合 注）簡易倉庫をクマが破壊する事があります</b>		
	⇒ 常時施錠している		
冷凍・冷蔵庫	⇒ 夜間のみ施錠している		常時施錠しましょう
	⇒ 施錠はしていない		常時施錠しましょう
	⇒ 屋外に冷凍庫や冷蔵庫は置いていない		
	⇒ 屋外に冷凍庫や冷蔵庫を置いている		常時施錠、可能ならば屋内に移動

\*クマに破壊されやすい構造：壁や扉等が鉄製でない、老朽化し腐食等がある、扉等に爪が引っかかる隙間があるなど

### 2. ゴミ管理

\*もし保管庫がクマに壊される兆候があれば対策の検討が必要です。

点検場所	点検項目	チェック✓	改善策
生ゴミ・可燃ゴミ保管場所	<b>本館屋内（厨房含む）で保管している場合</b>		
	⇒ フタ付容器に入れるなど、におい対策をしている		
	⇒ におい対策は行っていない		におい対策をしましょう
	<b>別棟建物で保管している場合</b>		
	⇒ 常時施錠している（入口・窓）		
	⇒ 夜間のみ施錠している（入口・窓）		常時施錠しましょう
	⇒ 施錠はしていない（入口・窓）		常時施錠しましょう
	⇒ フタ付容器に入れるなど、におい対策をしている		
	⇒ におい対策は行っていない		におい対策をしましょう
	⇒ 建物や扉はクマに破壊されにくい構造である		
	⇒ 建物や扉はクマに破壊されやすい構造である*		改修・補強を検討しましょう
	<b>スチール製簡易倉庫を使用している場合 注）簡易保管庫はクマが破壊する可能性があります</b>		
	⇒ 常時施錠している		
	⇒ 夜間のみ施錠している		常時施錠しましょう
	⇒ 施錠はしていない		常時施錠しましょう
	⇒ 生ゴミは保管していない		
⇒ 生ゴミを保管している		可能ならば生ゴミは屋内保管	
生ゴミ保管が屋外となる理由：			
<b>その他（一時保管）</b>			
	⇒ 一時的でも屋外に生ごみは置かない		
	⇒ 生ごみを屋外に置く（埋設を含む）ことがある		一時的でも屋外放置はやめましょう
缶・瓶・ペットボトル保管場所	<b>本館屋内（厨房含む）で保管している</b>		
	<b>別棟建物またはスチール製簡易倉庫で保管している場合</b>		
	⇒ 常時施錠している		
	⇒ 夜間のみ施錠している		常時施錠しましょう
	⇒ 施錠はしていない		常時施錠しましょう
	⇒ 建物や扉はクマに破壊されにくい構造である		
	⇒ 建物や扉はクマに破壊されやすい構造である*		改修・補強を検討しましょう
	<b>その他（一時保管）</b>		
	⇒ 屋外に放置（自販機などの来客用ゴミ箱は除く）		必ず倉庫等に入れましょう
	⇒ 屋外に来客用ゴミ箱は夕方までに回収している		
	⇒ 屋外に来客用ゴミ箱の中は夜間も回収していない		夕方までに回収しましょう

\*クマに破壊されやすい構造：壁や扉等が鉄製でない、老朽化し腐食等がある、扉等に爪が引っかかる隙間があるなど

### 3. 雑排水管理

\*本館建物内にある場合は点検不要です。

点検場所	点検項目	チェック✓	改善策
屋外 グリス トラップ	⇒ ボルト締めでフタを固定している		
	⇒ フタに車等を停車させている		ボルト締めを検討しましょう
	⇒ フタはボルト締めしていない		ボルト締めや開けにくい対策を実施しましょう
	⇒ その他の方法でクマ対策をしている		具体的に書いてください
	(具体的な対策： )		

# クマ注意

北アルプス・上高地はツキノワグマの生息域です  
MOON-NECKLACED BEARS HABITAT

**クマに出会わないために**

- 自分の存在を知らせる（クマ鈴など）
- 野外に食べ物を置かない
- 早朝・夜間、悪天候日は特に注意が必要

**クマに出会ってしまったら**

- クマに近づかない（写真撮影はしない）
- クマを驚かせない（大声を出したり、物を投げたりしない）
- クマに背を向けず、ゆっくり立ち去る

**How to avoid encounters with bears**

- Please carry a bear bell so as the bears can hear you approaching
- Please take care when you hike early in the morning, evening, night and during rainy days

**If you have encountered a bear**

- Please don't provoke a bear by approaching the animal for photos or a better look
- Please walk away slowly not to turn your back on a bear

クマの目撃情報・お問い合わせ 上高地インフォメーションセンター  
TEL 0263-95-2433 FAX 0263-95-2651

環境省 上高地管理官事務所（財）自然公園財団

What to Do if You Encounter a Bear

## クマに出会ったら



**近づかない  
写真は撮らない**  
Do NOT take a picture.



**大声を出したり、物を投げて  
熊を驚かさな**  
Do NOT yell at a bear.  
Let it know that you are no threat.



**走って逃げない**  
Never run from a bear.



**熊を見ながら  
ゆっくり後退**（転倒注意）  
Back away slowly.  
(Watch your step.)

環境省上高地管理官事務所・自然公園財団上高地支部

# ⚠ 危険

**子熊でも絶対に近づかない！**

**近くに親熊がいます！**

# ⚠ Warning

**Especially, DO NOT approach a bear cub!**

**There is a high chance that the mother bear is near the cub.**

# ⚠ 危険 Warning

**子熊でも絶対に近づかない！ 近くに親熊がいます！**

**Especially, DO NOT approach a bear cub!**

**There is a high chance that the mother bear is near the cub.**



**自然豊かな上高地には  
ツキノワグマが生息しています**

あなたはクマの生息地の訪問者です。クマは積極的に人を襲う動物ではありません。自己責任の原則のもと、みんなが安全快適に山岳利用ができるよう私たちからお願ひがあります。



**『人の近くに食べ物があること』をクマに教えないで！**

多くのクマは自然の中で人を避けるように生活しています。しかし、1度でも人の食べ物の味を学習してしまうと、人の近くに繰り返し出沒するようになり、テントなどを襲う危険なクマに変わってしまうことがあります。

**人の食べ物を餌と学習して危険なクマになるまで**



1 自然の中のクマ  
2 あれっ、何だろ？初めて食べる！  
3 もっと食べたい  
クマに人の食べ物の味を覚えさせるととても危険です！  
テントの中にあるかな？

**キャンプ場におけるクマ対策ルール**

クマは嗅覚が優れ、ニオイのあるものに誘引されます。食料だけでなく、食品の入っていた包装紙、飲み終えた缶やペットボトルもクマを引き寄せます。クマを誘引しないよう、キャンプ場のルールを守ってゴミや食料の管理を行ってください。

**ゴミの管理** ▶ **テントの外に置かない**

- ニオイが漏れないようにビニール袋に入れて保管する。
- 一時的でもテントの外には置かない。
- ゴミ箱がない施設ではゴミは持ち帰る。

**飲料の管理** ▶ **ニオイがもれないようにする**

食料庫がある場合	食料庫がない場合
<ul style="list-style-type: none"> <li>食料庫に保管し、テント内には置かない。</li> <li>出かけるときも、持ち歩くか、食料庫に保管する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニオイがもれないようにビニール袋などに密閉してテント内に保管する。</li> </ul>

**食事後の注意点**

生ゴミや残飯

- ゴミ箱がない場合は、ビニール袋に密閉し持ち帰る。

※ラーメン等の残り汁は、瓶に吸わせ、残飯とともに処理する。

食器類

- 食べ物のニオイがついているので、すぐに洗って保管する。

●施設の利用ルールを守りましょう●

**ツキノワグマってどんな動物？**

- 体長 100～170cmくらい (鼻先～尾まで)
- 体重 オス 60～120kg、メス 40～80kg
- 食べ物 主に植物を食べる雑食性。柔らかい葉や草、果実、トングリ、アリやハチの幼虫など
- 特徴 体は黒く、胸元に白い月の輪模様がある。嗅覚が優れる。木登りが得意。普段は穏やかだが、ぱったり出會って驚くと人を襲うこともある。

環境省 上高地管理官事務所 NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会

野営場利用者向けチラシ (上)

## ツキノワグマ人身事故防止対策

～自然公園の施設・キャンプ場管理者のみなさんへ～

自然豊かな上高地を含む山岳地はクマの生息地です！  
クマが人の食べ物に餌付くと、人身事故の原因になります

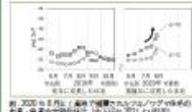
**クマは餌付くと行動が激変！**

クマは一度でも人の食べ物やゴミに餌付くと、繰り返し出沒します。生ゴミやグリストラップにも興奮します。人の食料がきっかけで危険なクマへと変化します。

クマによる人身事故を防ぐためには、「クマを絶対に餌付かせない」という意識をもち、食料・ゴミ・グリストラップをしっかり管理する必要があります。

**●体毛が落ちるクマの行動変化**

経緯されたクマの体毛に含まれる元素分析により、人の食料に餌付いたクマかどうかを知る事ができます。2020年8月上旬に人身事故を起こして捕獲されたクマは、前年から捕獲年7月までは自然の食べ物だけを食べていた。ところが、7月末から8月に入るとグラフの値がいきなり高くなるのは、人の食料に食料に餌付いてしまったことを示しています。





このように餌付くと危険です！

※上高地エリアはどこでもクマが出沒する可能性があるため、すべての施設のご協力が必要です  
●個体の目撃情報や餌付き個体の発生情報など、施設の施設との情報共有体制を確に行いましょう

**1 食料の管理**

- キャンプ場では食料保管庫を設置し、テント内には食料を置かない(食料保管庫がない場合は、食料をビニール袋などに密閉してテント内に保管)
- 食料保管庫は必ず密閉する
- 冷蔵庫など屋外に食料を保管しない(やむを得ない場合は密閉密閉する)



アスカカ-カマイ自然公園 キャンプ場食料保管庫の例



屋外の冷蔵庫はクマに開かれる危険性が高い

**2 ゴミの管理**

- ゴミ保管庫は必ず密閉する
- 生ゴミは短時間で取って絶対に屋外に置かない(保管庫内でも、コンテナに入れるなどして臭い対策をする)
- 缶、瓶などのゴミは必ず密閉して保管する



蓋付きのしっかりした生ゴミの保管庫



密閉缶やペットボトル類を屋外に置くクマに開かれる危険性が高い

**3 グリストラップの管理**

- 重い蓋でもクマは興奮に開けることができるので、ボルトなどでしっかりと固定する



クマがグリストラップの蓋を開ける



グリストラップの蓋はボルトなどでしっかりと固定

**4 やぶの刈り払い**

- テントサイトや遊歩道周辺はやぶを刈り払って見通しをよくする



遊歩道に刈り払った笹や草

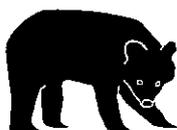


刈り払ったやぶ

【注意】施設の改修やササの刈り払いなどは手直しを要する可能性がありますので、事前にご相談ください。

環境省 上高地管理官事務所 NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会

事業者向けチラシ (左)



# クマ目撃情報記入用紙



今後の対策のため情報を集めています。ご協力をお願いします。

●今日の目付をご記入ください。 20 年 月 日

Q1 いつクマを目撃しましたか？ 月 日 □午前 □午後 時 分

【目撃以外】 □フン □足跡 □その他( )

Q2 どこで目撃しましたか？ (裏面地図に印をつけてください。)

Q3 クマは何頭いましたか？ □1頭 □親\_\_頭と子供\_\_頭

Q4 クマ目撃時の周りにいた人数は  
何人ですか？ □1人 □2～5人 □6人以上

Q5 クマ目撃時のクマとの距離は  
どれくらいでしたか？ □10m以下(約 m)  
□30m以下 □30mより遠い

Q6 クマ目撃時に何か音を出して  
いましたか？ □鈴を鳴らしていた □ラジオを鳴らしていた  
□話をしていた □何もしていない  
□その他の音( )

Q7 目撃時のクマは何をしていましたか？  
□じっとしていた □歩いていた □走っていた □立っていた  
□何か食べていた □その他(具体的に )

Q8 目撃後に目撃者は何をしましたか？  
□クマがいなくなるまでじっとしていた □静かに移動した □早足で移動した  
□声・音を出した(具体的に )  
□その他の行動(具体的に )

Q9 目撃後のクマは何をしましたか？  
□そのまま行動を続けた □静止していた □木に登った □急いで逃げた  
□歩いて近づいてきた □突進してきた □その他( )

Q10 上高地にクマが生息していることを知っていましたか？  
□知っていた □知らなかった

-----ご協力ありがとうございました-----

※恐れ入りますが、上高地内従業員の方は、お名前と所属先名をご記入いただきますようお願いいたします。

氏名) \_\_\_\_\_ 所属先) \_\_\_\_\_

上高地インフォメーションセンター TEL 0263-95-2433 FAX 0263-95-2651

■編集・発行（平成 24 年 3 月） 最終改訂（令和 3 年 4 月）

環境省上高地管理官事務所

住所：長野県松本市安曇上高地 4468

電話：0263-95-2032 fax：0263-95-2172